

阪神淡路大震災 20 周年の節目に

木谷正道（まちの音楽家・NPO 法人 暮らしと耐震協議会理事長）

1995 年 1 月、阪神淡路大震災で 6434 人が亡くなりました。大半が家屋倒壊や家具転倒での窒息・圧死でした。当時、東京都の調査研究室長として首都直下地震を研究していた僕は強いショックを受け、防災をライフワークにしました。

2007 年に東京都を退職し、NPO 法人暮らしと耐震協議会を設立しました。被害軽減の切札＝耐震補強と家具固定をはじめ、心の唄コンサート、囲碁普及、高齢者や障害者の支援、被災地支援などの活動を続けてきました。

おかげさまで輪が拡がり、今年は第 2 回碁石海岸で囲碁まつり（5/16～18：大船渡の復興）、第 3 回首都防災ウィーク（9/1～6：東京都慰霊堂）、心の唄 & 囲碁'15（12/13：大井町きゅりあん）などの準備が進み、地元でも、ひらつな祭（3/15）が取り組まれています。

しかし、耐震補強と家具固定は全国どこでも進んでおらず、このままでは大きな被害が出ます。津波よりもまず、強い揺れに耐えなければ



阪神淡路大震災

なりません。延焼が脅威です。

地震がいつ起きるかは分かりませんが、必ず起き、何度でも起きます。1981 年以前の住宅は、特に耐震診断を受けることをお勧めします。平塚では自己負担 11,400 円です。

高齢者のお宅では、手すりやバリアフリー工事も 1 割の自己負担でできます。リフォームに合わせて耐震補強を行えば簡単で安くできます。

暮らしと耐震協議会は、第一回日本耐震グランプリで、最もすぐれた耐震団体として内閣総理大臣賞を受賞しました（2007 年）。神奈川県ボランティア活動奨励賞もいただき、東京や全国の防災グループと連携して活動しています。

ご家族の命と財産を守るため、いつでも気軽にご相談ください。

2015 年 2 月 木谷正道

首都防災ウィーク実行委員会事務局長
NPO 法人東京いのちのポータルサイト副理事長
日本棋院墨田支部長 心の唄バンドリーダー



■ 暮らしと耐震協議会の主なメンバー（◎ 部会長） ■

- 診断・計画部会（◎ 中里 謙（理事・一級建築士）、田中敦史（理事・一級建築士）、川瀬祐司（一級建築士））
- 工事部会（◎ 谷川健正（副理事長・谷川建設）） ● 点検評価部会（◎ 菅家芳助（副理事長・菅家工務店）） ● 経営企画部会（◎ 福井義幸（副理事長・地域住環境研究所長）） ● 福祉部会（◎ 出縄守英（理事・進和学園副理事長）） ● 広報部会（◎ 篠原憲一（副理事長・ひらつか防災まちづくりの会代表）） ● 文化部会（◎ 木谷正道（理事長・まちの音楽家）） ● 広域連携部会（◎ 寿乃田正人（理事・東京いのちのポータルサイト副理事長）） ● 事務局長（理事・大石明広） ● 監事（斎間孝一（元東京都都市整備局建築指導課長））

■ 私も応援しています ■

- 松岡紀雄（神奈川大学名誉教授） ● 中林一樹（明治大学特任教授） ● 柴田いづみ（滋賀県立大学名誉教授） ● 出縄雅之（（社福）進和学園理事長） ● 中台和子（県指定 NPO 法人地域福祉を考える会事務局長） ● 瀧澤一郎（NPO 法人東京いのちのポータルサイト理事長） ● 伊藤 衛（新宿区耐震補強推進協議会会長） ● 篠原 進（家具固定市民活動家） ● 阿部友昭（前南三陸町立歌津中学校長） ● 大和田東江（大船渡市碁石地区復興まちづくり協議会長

【連絡先】大石（☎ 090-9856-5146）

